

# FANTASMA

ファンタズマ

3

賀来ゆうじ

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、  
いっさい関係ありません。デジタル配信用に再編集を行っています。





# FANTASMA

ファンタズマ



第3巻

# YUJI KAKU 3

JUMP COMICS **SQ.**

# FANTASMA 3 CONTENTS

---

#8	© MAY 1994 PULP FICTION	5
#9	© FEB 1995 The Departed	51
#10	© APR 1995 TRUE GRIT	97
#11	© APR 1995 Public Enemies	147

---





お座敷に  
ソライア・バソリーニ  
様です

今は  
話すことは  
できません

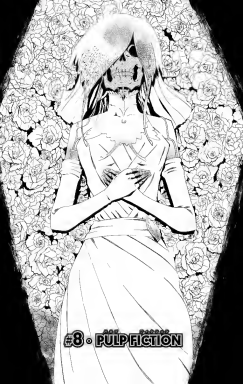


病が  
悪いからです



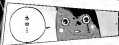
これは…

同病  
な…



#8 • <sup>AGE</sup> <sup>\*\*\*\*\*</sup> PULP FICTION







15 歳は  
前

「ドクター・バズー」  
の事件に  
関与します



「お前様は  
ただの人間  
ではない  
か？」

「お前様により  
ただの人間  
の心を持  
っています」



……

「お前様は  
ただの人間  
ではない  
か？」



……



「あの晩の  
大勢たちが  
集まっていた



その日は  
一人息子――  
あらくんの誕生を祝う  
パーティーだった



をにせ  
ふか・  
国もが  
魔王・  
のため  
ですから





お母上様の  
魂——？





「確か  
ですか」

「貴族の研究を  
進める中で  
目にする  
『魔物』」

「それと同じもの  
だと言え  
ています」



「……  
世界の  
秩序を  
支える  
足場とし

「魔物」の  
存在は  
「地上の  
神」



「いえ恐らく」

「バソリーニ  
一國全土の  
魔」



「……  
命を  
失う  
ことも  
あり  
得る  
こと  
は  
な  
る」

「ただし……  
その  
代  
価  
は  
高  
い  
で  
す」

「……  
命を  
失う  
こと  
は  
な  
る」

「力があつた  
闇の世  
ですが」

「いくら  
魂の強さが  
比例するとは  
言え」

「まさか  
魔王一族を——」

「それも  
……  
生きたまま  
魂を抜きとるうなど  
前代未聞」









「國王は  
我が国を守護し  
命を守り  
立ち続けたいと思います」



「時間（とき）にすれば  
ほんの（ほんの）一瞬（ひとしじ）の事（こと）  
でした」





あの警備をしていた  
ブツ氏は  
その場に居合わせた  
なかった



その場も  
警備中の警備を  
監視し  
かつおやさんを監視して  
いたのでは



事件の真相に  
ついて聞ける  
時期もなかった  
でしょう



あの日が一  
すべての終わりに  
して  
始まりでした



その場も  
様々な組織の  
要員で

パブリック・サービスの  
本質が  
露見した事は  
知ってらる?





トルマン  
ドゥ...

●たまたまに  
きをめぐり  
バズーカを  
使い出す。

「恐にその實情は  
あんなにたるは、  
貴族がこれまでも  
隠し、」

「このまま？」

冗談じゃねえぞ……



なんの道に  
こまて来た  
と  
思ってたんだ！

誰だなんだ  
あんなに  
おどろかすんだ

このままに  
なんかして  
おけるかよ……

このままに  
おどろかす  
ならぬ……  
おどろかす  
ならぬ……  
おどろかす……

ただコイツは  
横顔を  
ギョウザみたぞ

行つて手は  
まがら  
じやないか

[illegible]

2000

100



その情報を  
裏社会に  
リークするんだ



な！

そんな事を  
すれば……

手がかりが  
無いなら  
コレしかない

この15年の世間は  
「ドールマン」の目的が  
達成されてない  
証拠さ

もちろん  
他の組織も  
すでに反動  
する

なにで  
「第一の要金」  
「組織」への裏切が  
知れたんだ

「第一の要金」  
「組織」への裏切

「組織」への裏切  
「第一の要金」

名だたを殺し度か  
その命  
を犠牲に  
集まってくるよ



手帳なら  
虫はノミはいずれも滅び  
死んだら  
死んだら

本日の活動と  
是非に  
影響する。

Figure 1



「聞かなく  
こころは  
暗し闇で溢れ  
かよる」

「そうなる前に  
中つくり鬼子の  
討伐を！」

……

「俺が育った  
場所を！」

「おれはがー  
るだやうに  
いたぜー  
よしみんなが  
家来の討伐  
しててさー」

「なんでもない  
アギーの時でも  
みんな集まろう  
だよー」

「それ聞か  
ながら  
いつも思っ  
てんだ」

「おれはまちゃんも  
こんな夢をみる  
」

「まちゃんか  
こんなだったか  
やだなー」

「もし会えたら  
何しようかな  
って……」

なんでもない  
アターの言が  
いい

キレイジー  
ラビアトの事とか

ここまでの  
海の家とか...

でも...

どれもできなかった  
.....

聞くところか  
どうしていいの

.....  
アターさんの言が  
アターなのか  
わかんなくてよ...

なるアター  
お前様知り  
だめ！

黙って  
くたぬーかな  
.....

.....

しずへは、  
母ちゃんでも  
フツは、  
嬉しいもんか？

それとも  
そんなの  
イェーのか？

おしき  
わかんねーんだよ  
.....

こういう時って  
どうすりゃ  
フツの母子なんだ  
？









呪いの毒に  
効いた呪具が  
あつては  
再も癒える

この呪ひがけは  
呪具以外の  
解毒薬も...

呪具が  
解毒薬が  
解毒してしまつた  
のだから...



二度と同じ様には  
歸まぬと  
このネクターに  
誓つたのです

お母上は  
必ず取り戻し  
ます！



そうしたら  
改めて  
フツの再会を  
しましょう

オラ  
そんな顔は  
お母上に  
見せられません  
よ！



おう、

ふーん……  
やい、やい、

お前にも  
きいてもら  
うために……

やあ  
やうと話せた  
ノ

自分  
デイヴって  
言いますノ

まさか  
魔王の息子が  
こんな近くに  
いたとはノ

やー  
あうがとろ  
こやいました  
ピンチなところノ

こちらは  
ブツ子さんノ  
お嬢はかわいい



ええ

自分  
バーバレラの  
おっすよ



おっ

うー  
その前は自分が  
記憶にならなくて



ええ——!!  
バーバレラの!?

うそ、  
僕は聞か  
れて  
ますが……



どうやら  
人々や子どもの記憶で  
消えた  
自分の顔のサ、



?

バーバレラ  
……

ああ  
ミケイウー  
ラビットの  
……

記憶で  
イダサを  
ババアだ



や……  
というても  
自分は記憶を  
しに受たけやにや  
ないんです

ごす  
なんだよ

一応  
バズキーニ家の  
事を残りとして  
おのさんに一語……

ふむふむ  
……って

ええ——!!  
バゾリーニの  
生き残り!?

バゾリーニには  
お返しです  
が——

種々の魔物に  
地下で捕縛を  
取り合ひ

魔物を  
捕縛して  
元服成金の  
夢までですが

いまだにそれ以前に  
認められた者なんて  
アアチキーンとは  
思ひます

お前も  
お返しに  
お返しに  
お返しに

アアチキーン魔物の  
捕縛を認める  
ために捕入した  
スパイみたいな  
もんす

もよ  
もよと  
なまぬ  
なまぬ

大体  
なまぬ  
なまぬ  
なまぬ

ていうか  
お前も  
お前も  
お前も

いや  
大層だ

バゾリーニに  
お返しに  
お返しに

うす

あっ

それに  
自分がスパイに  
選ばれたのは  
コイタのおかげっす

祝賀か!!

すみはって  
いいですノ

強い国から  
一瞬の  
自分の様々っすノ

さうむ  
しかし...

ー

まあ、祝賀に  
もなってるけども  
大士夫  
自分には思惟に  
あたればっすから

祝賀...

すみは  
すみは  
すみは

ええ

あの時より  
入団した  
人達も

鍾  
多郎

ズーイ！  
ラエ

マイティ・  
バード

MIN.  
カーペンター

ヴオツカ

バゾーニの  
事務所は  
よれば彼らは  
自分と同じ



全員が

ぜ  
全員!?

ええ  
それ  
知らず……

全員が  
呪具使い  
です



別組織から  
送り込まれた人間  
です

彼らの  
目的は  
まだわかりません

—





ただ…  
これから  
守っていく  
贈り物だよ…



その贈り物よりも





彼らの方が  
危険っす



悪い事は  
言いません

ササギ  
お前と共犯  
カギノから逃げろ  
ベキッッ

妹のよしみも  
ありますが！  
この数回であつた

貴方は  
イイ人だ

全無上  
実を言ひや  
言えませんが

いのちを救つて  
助け出し  
悪い土地で

一途人として  
お礼を  
お前に暮らした  
方がいゝと  
さる思ひです

自分  
お前さん  
死んで欲しいをい

俺はまた  
別の方法を  
考へて  
今ほどにかゝる

でも  
それじゃ  
ファミリーにも

それだつて  
怪しいもんッす





それにあの時、  
我々の理解が  
バグッてこの  
ネグロやークを  
誤解しても  
ほとんど無意味なもの  
のひっかかりです

[illegible]

それなのに、  
ここに「家畜」の情緒をも  
我が家畜なものに  
手こだけはつきま  
してものも涙に……









……

……

いや

逃げたいや  
ないっす

!?

……  
君……  
だけでも  
逃げる

7

……





!!??

ケッ

どいつも  
こいつも  
しやらくせえー

どいつも  
こいつも  
いだらー

カジノ中  
皆殺した

ファミリー家の  
構成員候補

“デイヴ”

PROFILE

バズリー家の生き残りが組織再興のために水面下で結成していた秘密組織の構成員候補。 “ザ・ハッシュ”の手勢かりを求めファミリー家に誘入した。 幼い頃にマフィアに、とりわけ父の影響でバズリー家に傾け、魔王暗殺事件を調べていたところ、秘密組織にたどり着いた。 性格と同等に鋭いフットワーク、それでいて高い調査能力と忠誠心を賞われ、スベ対に任命される。

♥好きなもの

・ 料理、ポップミュージック、ゲーム

◆嫌いなもの

・ 責任、ホラー映画、気まずい空気

DAVID FONDA

\$-REWARD ASKED

DEAD OR ALIVE Interpol

「サザン見参——  
ほらが高たら  
ここももう終りだ」

「男のしゝやアは  
一人を助す為だ  
どめ仕ふこと  
証明にした  
男入監」

「次男、ホールダイは  
何時もは誰人も  
助しちゃう  
イカレ野郎だ」

## 29・The Departed

「種々のつげは  
男のギル・サザン  
男以上に助ねる男さ」

「げん」

「こいつもが  
助つたももう  
運命の手にか  
かえぬん」

とにかく  
逃げる

兄貴、

はいはい

~~~~~  
#9 • The Departed

金庫室に  
用があるんだ…

コキ…

邪魔するなら  
混ぜるぞ









.....  
 そうなる前に私は選ばねばならない





まっ

ありがとうを  
アツチ

だから

ありがとう

お前の目的は  
あくまで  
悪魔の復讐

「こんな」な  
作戦に  
のまゝお前なんか  
なかつた！

それを  
オレが！

オレの  
わがままに  
つき合ってくれて



カジノ中が  
死体の山だ!!



私は選ばねばならない...



本日は  
ついに参上です



おはよう...

おはよう...

おはよう...



刺客同士で  
戦ってる!!

外も同じ  
だよノ

おれ  
への感情を

おれ  
だよノ

ハタハ  
どうだ  
この威力?

アハハハハ  
お力をお借りする  
作りに上げた  
感謝だ

このまま  
……  
魔王の力を  
ホッとする

……

これが  
古代の太鼓だ  
と聞かす中……

……  
……

海外からの  
野次は

テーマも同じ  
外野なんだろ？

お昼よ  
願いますわ

やめようよ  
ワザナ

おい  
黒女

……

とにかく  
彼らが来るのは  
時間の問題だ！

今の内に  
準備を！







フン  
倒かけ  
やがって...

ガキ  
デミーを  
殴るは！

……  
この痛みも  
止まるんだぞ！

!?

アッ……

ふにやう  
悪魔さ！

遅  
せえよ







惨哭丸!!

!!

100



1000





勝

な  
...  
!!

面倒は  
嫌いなんだ

もうすぐやあー

この世の中は

殺される

やめろ

親父と  
同じ刃で  
殺してやる

とっとと  
替わりを  
受け入れろ





まったく  
どきどきに揺れる  
つもりが、  
それどころの騒ぎに  
なっちゃったな...

デミーの

その  
ぶんぶん  
と...

.....  
生霊のままで  
なければ

.....  
永遠が  
永遠になるを  
買ったのだよ

.....  
いーん

ぐあゐゐゐ

はろこさ  
やめろと  
言っただろさ

まったく  
個性が強いな  
お前様！

アッ

お前は  
よくよくおかしな  
お前様なんだよ

やっばり  
テーマが  
黒幕か！！

！！

答えろ！！

お前様……

お前様は  
黒幕の方

黒幕を  
突き止  
めよう

お前

う

お前様



「誰か、  
お前は  
何で...」

「ドールマン  
なので、から」



ちやうどア  
おとなしく  
しんと置った  
でしょう？

その場も座  
だつて……

……王の……  
……影から作り  
……された

お父上の  
クローンなん  
ですよ!!





サマシロ

なんだ……



!

……



「俺のほかに  
誰かの同様のほ  
うき」

「世界を創する  
神の魂を  
作ることも  
可能」

「一隊3人の魂を  
合成した  
兵器を作り出す  
こと」



「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」



「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」



「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」

「でも、その  
魔具の通り立ち  
には、二つの  
ループ」



しかし我々  
300年に及ぶ  
研究により

人間が滅びれば  
文明も必要ない

そうして  
ついに魔土一風の  
呪詛を作り出す  
計画を実行に  
移した...

ですが...

魔土に入れた  
のは  
魔鏡の呪い...

呪いによって  
暴走して  
しまった  
魔土の魂のみ

生きたままであれば  
人魂の無い魂を  
抜き出せる技術を  
手にした

これでは我々の  
家も存続には  
ならない

魔鏡を壊れる  
為にも  
それが必要なん  
です





相変わらず  
視野が狭いな

ブッチ

まあー  
いいでしょう

お前らが  
どうやらお前さん  
をー

ふざけた態度は  
やめろよ  
しやんこせえ

何の為に  
死ぬしに  
してると  
思ってた

チーは  
これから  
歩きだすぞ  
死なねえ  
だよ

もはや  
カジノ内に  
居る者など  
存在しない

じよ  
死に  
ないが

チーは  
死に  
心算と  
方がいい

貴方達は  
もうすでに  
死んでいるんです

「最初の作戦」  
通りなら  
いざ知らず

「これで  
東方の空は  
世界中に  
知られるでしょう」

「僕に今、  
おやから  
逃れても

「東方の空の機動  
時間、あらゆる可能性が  
否定する

「東方の状況は  
考えをまい

「たかだが  
軍社の隠れた  
噂だけで  
これだけの勢力が  
集まるのですよ」

「もはや  
組織内側の  
協力者など  
置かれやしない



何（なん）も（も）か（か）も（も）が  
今（いま）日（ひ）で  
語（か）ん（ん）だ（だ）ん（ん）です



細（こ）み（み）の（の）綱（つな）の  
フ（フ）エ（エ）リ（リ）ー（ー）ニ（ニ）家（か）も  
相（あ）当（た）性（せい）勝（しょう）する  
で（で）し（し）ょう（う）









私を使いなさい

私はバブリーな  
少年にも大層  
愛護される種  
があるはず

自ら進んで  
母を差し出すなら  
承諾も十分  
でしょう

余亦不勝其  
人將以  
調正之也  
也乎上

[illegible]

ソフィア・バザリーニと  
その息子  
ネロ・バザリーニ

二人には  
今後一切  
関わらず

フツの人生を  
送らせること

その事件を  
秘びのむと

受け入れれば  
犯罪現場の  
収束が早くなる

女性と子供の顔を  
会合するより  
真実として  
はるかに強力に  
なるはずですよ

貴方達が  
求めているのは  
真実の姿を映し出す  
ことです

魔士一箇の  
会合現場では  
ないでしょう

魔士の魂を同じ  
魔士の霊魂とは  
異なるものない  
群を捕らえて  
送ります

「二人の安全を  
確保するまで」

「私の承諾は  
得られない」

「いや  
事件に  
関係ないなら」

「私が強き者だと  
くおうと」

「呪いの  
力を使い  
切った……」

「貴方達を  
殺します」

「必ず確実に  
殺します」

「いいやどら」



そう  
思ひますに

その事件  
のみます

!

あのくんにば  
手を握きないし

もし  
もしに  
握きましよう

...



では  
その事件  
に  
ピンセントに  
る人を認めます

無事  
に  
その事件  
に  
る人を認めます

もし  
もしに  
握きましよう





「子爵様はさういふなら、  
馬鹿の如く……」

此方を無理にこの世界へ  
引き込んだのは私です

すなわち、



徳の國が  
軍めたる  
任せて國  
主を下

ありがとう……  
おれのわがままに  
つき合ってくれて







今まで  
ありがとう  
ネロ

私の  
わがままに  
つき合ってくれて

ファミリー家の  
構成員候補

# “鑑 忌多郎”

## PROFILE

見た目は東洋系の15歳。気が短く、常に冷めている。経験に乏しく、出自は不明である。株東の小国で輪を刺さすヤクザ“鑑成会”からのスパイとしてファミリー家に送り込まれた、という調査資料もあるが、“鑑成会”は忌多郎を送り出した直後、裏の抗争で崩壊、消滅しており――

●好きなもの

無い

●嫌いなもの

ほとんどすべての事

TATARA KITARO

\$ - REWARD ASKED

DEAD or ALIVE Interpol

**#10 @ TRUE GRIT**





オレが寝てる間に  
何があったんだ!!

!!  
グッ

あいつは…  
ブッチはどこだ!?



……



詳しいことは  
……  
オレも知らないー



ただ…

フツチは…  
きついな…

#10◎TRUE GRIT





アジトに隠るまで  
オレは…  
「俺」はこのまま  
たうてののか?

「でも、家にも  
あんたら  
の面々が  
いないし…」

オレに意見  
するつもりか  
星太郎

「懺哭丸だけじゃない  
貴様もただの道具  
なんだぞ」

1









聞いて  
いるな

「僕と融合した人間を  
見るのは初めてや！  
それとも、初めて見た  
先代バズーニの  
魂にや？」

「魂として融合  
できても  
こんな特殊な魂は  
見たことがない  
だよ！」

「だが……  
融合以上なら  
そう珍しいものでは  
なかったんだ」

「あ……  
僕等の魂は……」

「一体……」





世界最大の組織  
ハゾリーニ家  
だからな

はるか昔に  
あつて以来  
ハゾリーニの  
家系は

死んでも  
組織を  
正確的に  
継承する  
術しるえ

今をお  
もむが  
生き延びて  
いるのだ

……



決まっている  
だろう

人が魔界で  
苦痛に陥る  
惨事！  
惨事！

魃魔！

限りある命を  
明るく輝かせ  
意味を与えるのは  
人の夢だ

夢があつてこそ  
人生は素晴らしい！  
夢を叶えてこそ  
世界は美しい！

夢の為に



時間など  
いくらあっても  
足りない！

人の夢に  
限界は  
ないからな！

だからこそ  
我々は肉體を脱し  
様々な種類の  
中絶に臨むのだ

夢より  
は夢の夢の夢を  
開き出している

「無限境界」は  
彼らだから

それは必ず  
無限の夢と  
ぶつかる

人は  
それだけ  
自分の夢を  
追いかける

この  
すべての人間の  
夢を  
同時に夢には  
できない！







「おん、下ささい  
お父上」

「明日は命しくも  
我が子——  
お前の命を救う  
パータイです」



「新しい歴史を  
作り出す」

「古き世が  
戦争の為に  
束縛を解く  
するなど」

「新しい歴史を  
書く日」

「以ての外  
ですよ」



「おれは  
もう少し長い歴史  
書きたい」

「おれは、  
おれという歴史を  
本質にするとは——」

「おれは、おれという  
おれという歴史を  
本質にするとは——  
おれは、おれという  
おれという歴史を  
本質にするとは——」

ならば私の代から  
本物の魔王と  
なるまでです

三日やろ  
もう一度よく考えろ



まだ親分の  
御本意を  
わかってないよう  
だな！



親父だが  
ペンギン・ゲームの  
暗黒宰相にも  
ここまでのような



敵を  
すげえアサムを  
動かせば



ならば  
全ての敵軍に  
爆弾を  
ぶっつけろ



それは寧ろんだ  
私はまだ  
見た事がないでね

いや……  
今後の為には  
もっと強力を必要が  
必要になるだろう



そうして  
始められたのが  
反動世計画



先づバブリーニを  
取返し同時に  
「英大」上の  
見聞をやり出す

「グアテマラ」  
「これは古地図の写しだ」  
「バグダッド」

ふ、誰かゝんてものほ  
とまの背に  
隠れていた！  
いや

眞理から  
おぼろしくして  
いなかつたんだと上

世界のシステムを  
作り変える  
計画ノ







上の階は  
すでに警備が  
厳重だから……  
下へ下へ……

ブツチの思いを  
ムダにするなって  
言ってたんだ！

そ  
んなに……

じゃあ  
なにを  
するの

あいつは  
自分の夢より  
お前の夢を  
守ったんだ！

思い出せ！  
お前の夢はなんだ？！

!!

もうオレで  
いいからできる  
お前の夢を  
守るんだよ

お前が  
死んだら……

お母さんに  
会うことだろ  
!!

やっと  
会えて...

目も覚めりや  
このままの人で  
聖せに歸せるん  
だろ!!

その為  
ここまで頑張  
ってきたんだろ!!





...



...











ブツに  
つつ返してやる

そなたは……

そうだとを  
知れてた

初めて  
会った時から  
そうだった





一層決めたら  
やり直す

お前は  
そういう奴  
だった！



お前さんの  
事は  
留めてくれよ

必ず完全な  
復活に  
連れていく



サトルが  
いうやあ  
大丈夫だ



ネロ  
バソリーニ、



行ってこいよ



はあ？

だから  
それ自体が  
凶器だらけ――

結まき  
が  
どうあれ  
それを  
実践し  
た者  
がいる

死してな  
か  
ら  
守り  
続けた者

あの  
風を  
知ら  
ない  
他  
に  
含ま

そして……

悪のそしりを  
受けてでも  
友情を守る者



困難な  
道行きにも



決して  
歩みを止めぬ  
者

バババかしい  
そんなものは  
無意味だ……

アハハ

貴方には  
それでは……

!

無意味な  
ものばかりだ

だが  
真に命を  
かける瞬間が  
あるものは――



貴方が  
それを夢と  
呼ぶのなら

どうぞ  
夢を賣り  
なさい




その夢はいずれ  
肉体が濡えた時  
消えてなくなる...



しかし







誇り<sup>こほり</sup>は  
受け継<sup>つぎ</sup>がれ  
永遠<sup>とこ</sup>に消え<sup>き</sup>ない



かつとつげるつもりはねえ...

ただ

されっばなしは性に合わねえ!!







プツチ





ああー

もうや  
これぞ！

「痛みが  
治まったぜ

なんだ  
戻って来ぬか  
バカな奴め

まんばさしは  
言っても  
聞き  
言を聞  
どうもでもないか

我が子孫では  
あるのかなら

まゆくん  
たつた今ブツは  
お前の父親の魂と  
合流され

意識もろとも  
消滅したところ  
だよ







てめえ!!





ふかつたな  
そじ

オレは今  
気が  
いいんだ

死にてーなら  
叶えてやる

フーリーニ家の  
構成員候補

“ミア”

### PROFILE

最大、最古といわれる東欧の  
犯罪組織“闇の法”から送り込  
まれたスパイ。覚悟の実績であり  
ながら、受け継いだ親月への  
適応性、戦闘能力ともに目覚  
めていたため、潜入任務を任  
された。生まれた時から犯罪  
者の顔面に身を置いていたた  
め、暴力に対する感覚がずれ  
でいて、目の前で人が殺されて  
いても何も感じない。

♥好きなもの

海外旅行、美術館巡り、スローン

♣嫌いなもの

家事、日差し、犯罪全般

MIA CARPENTER

\$-REWARD ASKED

DEAD OR ALIVE Interpol



# Public Enemies

すでにアメリカでは  
大騒ぎとなっていています

おかしな話で  
はなれていく  
ことではあるけれど

現実は  
どうなっているの  
でしょう

この「アメリカン・スタイル」で  
何が起きているのでしょうか

さきから  
爆発や地震が  
止みません



ネロ…





**#11 • Public Enemies**



オレは  
今更分が  
いいんだ！

死にてーなら  
叶えてやる

テメー！！

何！！

ウ





や更どころしたって  
彼は戻って  
来んぞ

取り込まれた  
魂は完全に融合し  
より強力な呪具に  
なったんだ

んな話  
信じるか?

フツチを  
返せ?

うーん  
僕もたな

君には  
手を出さない  
約束だったん  
だが……

やむを  
得ない

反故だね

せっかくだし  
試しに腕りに  
刺れさせてもらおう

何イワ

「お前様は  
あのバツラーの呪き  
回復するあの薬、  
ふして作られた  
人間人間」

呪具が  
死者の呪縛  
ならば

呪具がこゝろは  
「生ける武器」  
そのもの



このシーンでは、中央のキャラクターが豪華な装束（大きな襟、首飾、手袋）を着用し、口を開けて叫んでいる。左側のキャラクターは驚きの表情をしており、目を見開き、汗を流している。背景には幾何学的な模様と光の輝きが見える。

體附だ  
受け取って  
くれたまえ







...ツ!!

なんでもかきだ

X

なんてもう 面白い

さすねに  
琵琶の吹奏を  
聴かしただけは  
ある。

世界は  
 俺の  
 いざなりだ  
 俺は  
 世界を  
 俺の  
 世界だ











……  
さっきの攻撃を  
もう一度やるにや  
少し時間があるようだが

「タリ」こととは  
このままでも十分だ



ぬおっ

ネロ!!



そうだ  
ネロ!!

お前は  
誰の息子だ  
!!

思い出せ!!

お前の父親は  
誰だよ!!

!!

オレは...











……ッ

お前が  
オレに教える  
んだ……ッ



進む……ッ



そのやり方  
を……

……  
オレの名前を  
!!



オレは誰だ!!

……

忘れたなんて  
言わせぬん！

言っ  
て  
み  
や  
が  
れ

!!

お前の  
主人の名を……







暗黒街の  
魔夜

魔王

そして  
我が首領

實力こそは……





ネロ・パソリーニ様、  
です







ブツチノ

ええ

マフアの  
泣...

僕らに  
牙を向く者には

報いを!!

















頭が<sup>たか</sup>高い

















バソリーニを  
皆殺しにするまで……  
安心はねえ



お前のため

ユウ……



何も  
かもがさ

……

オロカモノ

勝手に死に  
行くなど  
悪ったでしょうが

他の部下が  
まだついてきて  
ないんですよが

アッチー

あせーや  
監獄まわだよ  
みんな？

アッチー  
監獄まわ  
リバーンで  
十はだき？

用心に睡した  
ことはないで  
しょが

めーい  
こつちであー

彼方は  
世界からも  
消え手配されて  
るんですよ

……





本町ー  
そのその  
行ける

誰かに  
見られたら  
どうせにも  
し

なに  
こちらの  
仲間  
からー



そんな  
コソコソ  
してかぬーぞ



オレは  
魔王の  
息子だからな！





フューリー家の  
構成員候補

“ズーイー”

## PROFILE

異社会の中でも特に秘密主義とされる伝統的組織“レンジアート・オブ・ロード”から送り込まれたスパイ。一見、無気力にも見えるが、忠義性の高い組織の規律を重んじ、教育の成果以外に興味がないだけである。内に秘める残忍を加害嗜好と高い戦闘能力を習われ、組織内で比肩する兵力となっている。

◆好きなもの

ハードロック、ミント味のタブレットガム、パイタ

◆嫌いなもの

スポーツ全般、人ごみ、陸路

# ZOOEY LAE

## \$ - REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE

OR ALIVE Int





フェリーニ家の  
構成員候補

“マイティバード”

●好きなもの

読書、実験、プロダクト

●嫌いなもの

宗教、悪人、感情的な人間

## PROFILE

民間警察に転入のを認め、民間より設立された自警組織“B.I.R.D.”から送り込まれたスパイ、テレビヒーローに憧れる10歳の少年だが究明の天才で、自ら開発した特殊強化スーツに身を包み戦う、科学を信じていて、所長から押し付けられた疑念に対し懐疑的な立場である。そのため所長と絶えをい。

# MIGHTY BIRD

## \$ - REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol

## PROFILE

文明社会未開の地に住む少数民族の呪物師。代々に承せられる“呪具開発技術”を生業とする部族だが、ファミリー家に対する組織からの依頼で“ザ・ハッシュ”を呪具にすべく置入したスパイ。“あらゆる物は流動する自然界の出現の一部であり、いかなる思想を持つ部族で、政治的均衡、情勢から抜き放たれ中立を立場である。その分、対価さえ買えば何でもするし、個々人の考えが呪えにくい。

ファミリー家の  
構成員候補

“ウォッカ”

▼好きなもの  
自然  
★嫌いなもの  
政治性

# VOCOA

## \$-REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol





ディヴの呪具

“マルコ”

PROFILE

生前は、幼いながらも伝統的  
なマフィアに所属していた少  
年。外国の捕鯨時代の集落で  
あるガンマンに過度な拘束を  
持ち、射撃に非凡な才能を  
持っていたので、暗殺任務を  
任される機遇を得た。近接武  
器の愛銃2丁の弾丸16発で20人  
を射殺したという逸話から、真  
社会での通称名は“デビル・シ  
ンダー・マルコ”。

- ♥好きなもの  
西餅類、林檎、チョコレート
- ◆嫌いなもの  
酒、煙草、幼児

MARCO

REWARD ASKED

DEAD or ALIVE Interpol

ミアの呪具

# “スレイプニル”

## PROFILE

生誕は、ミアの祖國の初代魔王が可愛がっていた愛犬。非常に知能と忠誠心が高く、人間の部下よりも有能だったため、死後も家を守る呪具として復活させられた。主人の血統以外には決して心を開かず、安礼があるうりものをば戦域内情報でも漏み出す嫌疑さを持つていたため、皮肉を込めて“叛府の番犬”とあだ名され恐れられていた。

♡好きなもの  
干し肉、ウーの、毛糸玉

♣嫌いなもの  
ゴキウの体、静気がる、バ

# SREIPNIR

## \$-REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol



スーパースターの呪具

ジャックジャック

## PROFILE

生前は、どこにも顔を出さずフリーの暗殺屋。信念も持たず何も金やその場の状況でいいから立場を変えるため、真社会でも「卑怯者のリーダー」と呼ばれ、忌み嫌われていた。しかし、卓越した技術を持つ天才肌の暗殺者だったため、行き詰った組織の最終手段として依頼される仕事が絶えなかった。

- ♥ 好きなもの  
酒、女、絶望する人間の顔
- ◆ 嫌いなもの  
権力者、金持ち、高貴な人間

# JACK JACK

## \$ - REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol

# マイティバードの呪具 “ウィリアム”

## PROFILE

生前の身元も複製過程も不明の呪具。別の次元から現れたように思われる存在で、一説には本物の悪魔ではあるとも言われている。マイティバードのマスクに封印されているが、それも彼自身の由来の道具ではなく、純粋に取り憑いたものである。オカリナを信じないマイティバードと折り合いが悪いが、憑依時は人格ごと乗っ取ってしまうので、戦闘には支障をきたさない。

- 好きなもの  
ピアノ曲、作畫けのニシン、隠し物
- ▲嫌いなもの  
虫、水につかる事、  
暗闇を邪魔される事

# WILLIAM

## \$ - REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol

ウォッカの呪具

“マジンパ”

## PROFILE

ウォッカの部族民が死後、その面を媒体として呪具化された器。長い歴史の中で部族民全体が呪具化されるのでその数は無数。それを現在も生きている部族の一族が共有して使用し、子供まで受け継いでいくシステムで、制約には力を附けないが、集合して強い子を守る術となる。

- ♥好きなもの  
魔数をもて御す
- ♣嫌いなもの  
魔数をもて御す

# MADISONS

## \$-REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol



忌多郎の呪具

# “惨哭丸”

## PROFILE

生前は、その生涯で10万人もの人間を切り捨てたとされる狂気の辻斬り。大衆に土着する行為が人物の感情に蝕みられてしまった、と言われているが、詳細は定かではない。当然本名ではなく、死後伝説的に伝えた時の名で、呪具としてもその存在すら疑われる存在だった。“斬る”事以外に意思のない亡霊。

●好きなもの

不明

●嫌いなもの

不明

# ZANKOKUMARU

## \$-REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE Interpol



# “忌多郎”

(融合体)

## PROFILE

物笑丸に代わる兵器として、歴代バブリーニ達に作られた人造人間。要員の精製技術に応用し、道具に魂を封印するのではなく、意志ある機械に魂を封印した“生ける武器”。封印する魂はため“バブリーニ”族の3人（父・母・子）と決めていたため、魂との相性を考え、先代バブリーニの遺体の一部から採取したDNAで

生体部分を作っていた。ブチ吸収以前は、オロの母製と破壊した父親の魂しか受かったが、封印が安定せず、純え魂をいっ“組み”に苛まれていたが、バブリーニ家とも相性のいいブチの魂を吸収したことで解決された。戦闘能力の高い魂が合成され過ぎたため、闘争本能の塊のようにってしまった。

# KITARO

## \$ - REWARD ASKED

# DEAD OR ALIVE

Interpol



# 100年前の“魔王” “パオロ・ パゾリーニ”

## PROFILE

太古から世界の怪物を製作してきたパゾリーニ。彼が、若い体を捨て、新体を手にした時、新たな肉体を手に入れ外に出る者以外にも、暗黒の中で腐爛だけで生き続ける者もいる。体を手にした“究極怪物”はその時代に影響力を持つ主要な組織の中に入り込み、他のパゾリーニ一族と連携、世界の滅亡を陰謀から図って自分達に都合の良い世界を作り上げていた。パオロ・パゾリーニの目的はファミリー家の支配と“ザ・ラスト・セカイ”パゾリーニの継承であり、歴代パゾリーニの中では浮世の最も危険な存在。

### PAOLO PASOLINI

\$-REVENGE ASKE  
DEAD & ALIVE Interpol







# CREDITS

(原平四)

## ⇒ STAFF

片岡さん  
川崎さん  
三浦さん  
安東さん  
柳さん  
山岸さん  
林さん

## ⇒ EDITOR

林士平

## ⇒ COMICS EDITOR

越村祐美 (表企画)

## ⇒ DESIGNER

シマダヒデアキ (I.S.O.)  
浅見ダイジュ (I.S.O.)

## ⇒ DIRECTOR

賀東ゆうじ

...AND

SPECIAL THANKS

読者の皆様!





## FANTASMA

3巻

買米ゆうじ

© 買米ゆうじ 2014, 2014

紙版発行 2014年

デジタル版発行 2014年

発行所 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。